

# 八千代市 I C T 利活用推進計画 令和 5 年度取組状況

令和 6 年 3 月



# 目 次

第1章 取組項目一覧.....	1
1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上 .....	1
2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上.....	1
3 利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立 .....	1
取組が完了等した項目 .....	2
第2章 取組項目の内容 .....	3
1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上 .....	4
2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上.....	5
3 利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立 .....	6
第3章 総括.....	7
資 料 編.....	9
用 語 解 説.....	10

## 第1章 取組項目一覧

### 1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上

※ 計画に位置付けた取組はすべて完了

### 2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上

No.	取組項目	区分
2-1	AI 及び RPA の活用	継続
2-2	データ共有化の推進	継続

### 3 利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立

No.	取組項目	区分
3-1	情報セキュリティ監査体制等の強化	継続

## 取組が完了等した項目





整理番号	項目名	年度	区分
1-1	行政手続オンライン化の促進	令和4年度	完了
1-2	マイナンバーカードの活用推進	令和4年度	統合 (1-1)
1-3	電子決済サービスの導入（キャッシュレス化）	令和4年度	完了





## 第2章 取組項目の内容

### 取組項目表の見方


(例)

柱、取組み内容ごとに項目を整理し、番号を付し、  
- (ハイフン) 以下は枝番を示しています。  
(例)  
1-1 ⇒ 1つ目の柱の1つ目の取組項目




	「調査・検討」「移行準備」など移行前の段階を示すもの
	「結果取りまとめ」など実際に移行する方向性を決定する段階を示すもの
	「移行」など総合計画実施計画への移行が完了する段階を示すもの
	上記3つの段階が繰り返し行われ、「継続」して、取組を推進する必要がある状態を示すもの。




整理番号 項目名	2-1	AI及びRPAの活用	区分	継続	
推進内容	AI-OCR※やRPA※等を活用することで、今まで人の手で行っていた定型業務に充てていた作業時間の削減を図る。 その他、AI技術の活用を検討し、更なる事務の効率化を目指す。		推進年度	5年度	6年度
			推進予定		
関係部署	情報政策課、企画経営課及び全ての所属		推進実績		
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「AI・RPAの利用促進」への取組み		
	課題2	×	—		
	課題3	○	紙による定型作業を削減できる		
取組状況	障害者支援課・会計課・クリーン推進課の合計3業務にAI-OCRを導入するとともに、長寿支援課の1業務について、AI-OCR及びRPAの令和5年度中の導入を目指し、準備を進めました。				

3つの課題に対応した取組かどうかを示しています。  
○ 3つの課題  
1 DX推進計画※への対応  
2 「新しい生活様式」※への対応  
3 保存文書の削減への対応




令和5年12月の八千代市DX推進方針の策定をもって、八千代市ICT利活用推進計画を廃止したため、令和6年度の予定を  としておりますが、令和6年度以降も、八千代市DX推進方針において「継続」して推進してまいります。




# 1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上

整理番号 項目名	1-1	行政手続オンライン化の促進		区分		継続
推進内容	マイナンバーカード※を用いた公的個人認証※機能等の活用により、身分証明書の提示が必要だった手続きも含めた更なる行政手続きのオンライン化の拡充を行い、市民サービスの向上を図る。	推進年度	4年度	5年度	6年度	
		推進予定	 結果取り まとめ	 移行		
関係部署	情報管理課、総務課及び行政手続があるすべての部署		推進実績	 移行		
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「行政手続のオンライン化」への取組み			
	課題2	○	来庁せずに申請可能となることで接触機会の削減となる			
	課題3	○	紙による申請手続きを削減できる			
取組状況	<p>令和4年7月に行政手続のオンライン化に係る方針を策定しました。</p> <p>また、マイナポータルと基幹システムとのオンライン接続に向けたシステムの環境整備を実施しました。</p> <p>なお、当該取組は、第5次総合計画 前期実施計画への移行が完了したため、令和4年度で取組完了とします。</p> <p>※令和5年度以降は、八千代市第5次総合計画前期実施計画において取組を推進していきます。</p>					




整理番号 項目名	1-3	電子決済サービスの提供（キャッシュレス化）		区分		継続
推進内容	各種手数料・使用料等の決済方法をキャッシュレス化し、市民サービスの向上を図る。	推進年度	4年度	5年度	6年度	
		推進予定	 結果取り まとめ	 移行		
関係部署	情報管理課及び各種手数料・使用料等を取り扱う部署		推進実績	 移行		
課題対応	課題1	×	—			
	課題2	○	窓口での現金の受け渡しがなくなることで接触機会の削減となる			
	課題3	×	—			
取組状況	<p>戸籍住民課及び納税課におけるキャッシュレス決済について、令和5年1月に運用を開始しました。</p> <p>また、令和5年10月に施設使用料等に対するキャッシュレス決済（PayPay）の導入を決定し、令和6年度中の運用開始に向けた準備を行いました。</p> <p>なお、当該取組は、第5次総合計画 前期実施計画への移行が完了したため、令和4年度で取組完了とします。</p> <p>※令和5年度以降は、八千代市第5次総合計画前期実施計画において取組を推進していきます。</p>					

## 2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上

整理番号 項目名	2-1	AI及びRPAの活用		区分	継続
推進内容	AI-OCR※やRPA※等を活用することで、今まで人の手で行っていた定型業務に充てていた作業時間の削減を図る。 その他、AI技術の活用を検討し、更なる事務の効率化を目指す。	推進年度	5年度	6年度	
		推進予定	 継続	 継続	
関係部署	情報政策課、企画経営課及び全ての所属	推進実績	 継続		
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「AI・RPAの利用促進」への取組み		
	課題2	×	—		
	課題3	○	紙による定型作業を削減できる		
取組状況	障害者支援課・会計課・クリーン推進課の合計3業務にAI-OCRを導入するとともに、長寿支援課の1業務について、AI-OCR及びRPAの令和5年度中の導入を目指し、準備を進めました。				

整理番号 項目名	2-2	データ共有化の推進		区分	継続
推進内容	市が保有する統計データ等の共有化を推進し、施策立案への反映や業務効率化を図ります。	推進年度	5年度	6年度	
		推進予定	 継続	 継続	
関係部署	情報政策課及び全ての所属	推進実績	 継続		
課題対応	課題1	×	—		
	課題2	×	—		
	課題3	○	既存の紙資料をデータ化・共有することで保存資料を削減できる		
取組状況	各課が保有する地図情報データの共有化のため、関係部署との調整・協議を行った結果、道路情報を空間データとして電子化するとともに、道路データを管理するGIS※及び外部に公開するGISを一体で構築及び実装することとなり、令和6年度中の対応に向けた準備を行いました。				

### 3 利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立

整理番号 項目名	3-1	情報セキュリティ監査体制等の強化		区分	継続
推進内容	日々進歩するICT技術に対応するため、現在の情報セキュリティ監査体制や、監査手法の再検討・見直しを行う。 また、監査体制に限らず総合的に情報セキュリティの強靱化を図る。	推進年度	5年度	6年度	
		推進予定	 継続	 継続	
関係部署	情報政策課	推進実績	 継続		
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「セキュリティ対策の徹底」への取組み		
	課題2	×	—		
	課題3	×	—		
取組状況	<p>インターネットの閲覧において、職員個人単位でも閲覧ログを取得できるようセキュリティソフトの設定を見直し、情報セキュリティ監査での活用や不正アクセス抑制を図りました。</p> <p>また、日常的に使用しているシステム端末に、情報漏えい等の発生防止に係る注意喚起のポップアップウィンドウを表示し、セキュリティ意識の向上を図りました。</p>				



### 第3章 総括

「八千代市ICT利活用推進指針及び同計画」の計画期間中（令和3年4月～令和5年12月）に位置付けられた取組は6項目（うち他の項目に統合された項目が1，令和5年度から八千代市第5次総合計画前期実施計画にて推進となった項目が2）となり，各取組の推進状況は下記のとおりです。

なお，今後のDXに係る取組については，八千代市DX推進方針に基づき推進してまいります。

No.	取組項目	総括
1-1	行政手続オンライン化の促進	<p>令和3年度に，国が示す「子育て関係・介護関係の26手続」のオンライン化の対応について方針を策定し，本方針に基づき，令和4年度に，マイナポータルと基幹システムとのオンライン接続に向けたシステムの環境整備を完了しました。</p> <p>また，令和4年度には，上記以外の手続のオンライン化等の方針を策定いたしました。</p> <p>令和5年度以降は，八千代市第5次総合計画前期実施計画へ移行し，同計画において取組を推進しています。</p>
1-3	電子決済サービスの導入（キャッシュレス化）	<p>令和5年1月に，証明書交付時におけるキャッシュレス決済について，戸籍住民課及び納税課にて運用を開始するとともに，施設使用料等に対するキャッシュレス決済（PayPay）について，令和5年度中の運用開始に向けた準備を行いました。</p> <p>令和5年度以降は，八千代市第5次総合計画前期実施計画へ移行し，同計画において取組を推進しています。</p>
2-1	AI及びRPAの活用	<p>市民税課・納税課・長寿支援課・障害者支援課・会計課・クリーン推進課の合計6部署9業務に対して導入を行い，作業時間の削減を図りました。</p> <p>今後も，更なる事務の効率化を図るため，AI及びRPAの活用を推進してまいります。</p>

2-2	データ共有化の推進	<p>既存の紙資料のデータ化を進めるとともに、庁舎移転も見据え、各資料の保管場所などの課題解決に向け、関係部署と協議を行いました。</p> <p>また、各課が保有する地図情報データの共有化のため、道路情報を電子化するとともに、道路データを管理する GIS 及び外部に公開する GIS の一体での構築等について、令和 6 年度中の対応に向け準備を行いました。</p> <p>今後も、施策立案への反映や業務効率化を図るため、データ共有化を推進してまいります。</p>
3-1	情報セキュリティ監査体制の強化	<p>より効率的かつ効果的に PDCA サイクルを回すための見直しを図る等、内部監査の運用を改善するとともに、外部監査について、情報を収集し、導入を検討しました。</p> <p>また、令和 4 年度に、LGWAN※システム端末からインターネットを閲覧できるようシステム更改を行うとともに、千葉県と県内自治体で共同調達している千葉県自治体情報セキュリティクラウド※のシステム更改を行い、新たに CDN※等を導入し、セキュリティ及び利便性の向上を図りました。</p> <p>そして令和 5 年度に、インターネットの閲覧時、職員個人単位でも閲覧ログを取得できるよう見直し、不正アクセス抑制等を図るとともに、日常的に使用しているシステム端末に、情報漏えい等の発生防止に係る注意喚起のポップアップウィンドウを表示し、職員のセキュリティ意識向上を図りました。</p> <p>今後も、日々進歩する ICT 技術に対応しつつ、日々変化する情報セキュリティ上のリスクにも対応するため、情報セキュリティに係る取組を推進してまいります。</p>

## 資料編

### ・用語解説

## 用 語 解 説

索引	用 語	説 明
ア行	R P A	「Robotic Process Automation」の略称で、入力、登録、検索、抽出等のパソコン上で行う定型作業について、人の代わりにロボットが与えられたルールに基づき代行する I T ツール。
	新しい生活様式	新型コロナウイルスを想定した、長期間にわたって感染拡大を防ぐために、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策を、これまで以上に日常生活に定着させ、持続させていくような生活様式。
	A I	「Artificial Intelligence」の略称で、大まかには「知的な機械、特に、知的なコンピュータープログラムを作る科学と技術」と説明（人工知能学会 H P）されているものの、その定義は研究者によって異なっている状況にある。
	L G W A N	「Local Government Wide Area Network（総合行政ネットワーク）」の略称で、地方公共団体の組織内ネットワーク相互に接続し、地方公共団体間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図ることを目的とする、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク。
	O C R	「Optical Character Recognition」の略称で、手書きや印刷された紙データを、スキャナやプリンタ等で読み取り、コンピュータが利用できるデジタル文字に変換する技術。
カ行	公的個人認証	オンラインで申請や届出といった行政手続きを行う際など、他人による「なりすまし」やデータ改ざんを防ぐために用いられる本人確認の手段。「電子証明書」と呼ばれるデータを外部から読み取られるおそれのないマイナンバーカード等の I C カードに記録することで利用が可能となる
サ行	C D N	「Content Delivery Network」の略称で、インターネット上での WEB コンテンツを高速かつ効率的に配信するためのネットワーク。

	G I S	<p>デジタル化された地図データと位置が持つ属性情報等を組み合わせて解析・表示するシステムを地理情報システム（Geographic Information System）という。</p> <p>「デジタル・ガバメント実行計画」における各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめた計画。（対象期間 2021 年 1 月～2026 年 3 月）</p>
タ行	自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画	
	千葉県自治体情報セキュリティクラウド	各市町村が個別に設置している Web サーバ等の監視対象を千葉県と市町村が協力して集約のうえ、監視及びログ分析・解析をはじめ高度なセキュリティ対策を実施するもの。
マ行	マイナンバーカード	本人の申請により交付され、本人確認の際の公的な身分証明書として利用できるほか、様々な行政サービスを受けることができるようになる I C カード。氏名、住所、生年月日、性別、個人番号（マイナンバー）などが記載され、顔写真が貼付されている。

八千代市 I C T利活用推進計画  
令和 5 年度取組状況

---

発行日／令和 6 年 3 月

発 行／八千代市

編 集／企画部 情報政策課

住 所／〒276-8501

八千代市大和田新田312-5

T E L／047-421-6705（直通）

---

